

ご意見・ご質問コーナーに寄せられたご意見ご質問
(期間:平成24年11月29日～平成24年12月12日)

トリウム溶融塩炉

○年 齢 : 71歳～75歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名: 東京都

○ご質問の内容:

選挙では脱原発の声が強まっています。が、安全な原子炉があります。古川和男著「原発安全革命」。<http://hon.bunshun.jp/articles/-/91>
私は安全な原子炉「トリウム溶融塩炉」への置き換えの声が有ってもよいように思うが、一向に話題に成らないのが不思議でなりません。単に安全なばかりでなく、設計が単純で小型化できるので建設コストが安く、安全で有ればこそ消費地近くに建設できるので送電ロスが少なく、良いこと尽くしの原子炉です。なお、燃料のトリウムはレアアース産出の副産物として処理に困るほどあります。
中国やインドでは既に取り組んでいるようです。技術立国日本が率先して取り組むべき課題だと思うが、何か大きな欠陥が有るのでしょうか。ぜひとも原子力委員会の見解をうかがいたいと思います。

大学教員

○年 齢 : 46歳～50歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他

○都道府県名: 神奈川県

○ご意見の内容:

意見公募期間について

人材について、研究開発についてなど、最近の意見公募は特に期間が短すぎる。

最低でも1ヶ月は募集すべきである。

パブリックコメントに関して

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 女性

○職 業 : 無職

○都道府県名: 愛知県

○ご意見の内容:

パブコメ「今後の原子力研究開発の在り方についての意見」に応募しましたが締切時間オーバーになりました。そこで、こちらにて意見を送付させていただきます。

エネルギー環境会議は、1)として「原子力の安全確保のために、研究開発を進める」としています。この第一の命題こそが問題だと考えます。社会的国民的な合意を得られるものとは思えません。2)として、「安全確保のために研究開発を強化する」としています。技術力のアップが必要だという考え方ですが、操作するのは人間であり、人間である以上は過失を犯す危険性をゼロにはできません。また地震津波などの天災、何らかの不測の事態というものはいつかは確実に起きます。技術の向上で全てカバーできるものではありません。従って、「原子力発電とそこから排出される核廃棄物を、早急に安全に廃止したり保管するための研究開発を進める」という文言でなくては、国民は納得しないと考えます。2030 代までに原発ゼロにするなどという政策が考えられているようですが、地震が頻繁に起きている時期に悠長な政策を受け入れることはできません。